

教員資格審査関係書類の作成上の留意点

別添の記入例を参考にし、下記の要領に基づいて作成してください。作成要領・記入例に基づいて作成されていない申請書類については、審査の対象外となる可能性がありますので、十分ご留意ください。なお、連合農学研究科長が指定する構成大学研究科長等からの推薦締切以降に、新たに業績を追加することは一切できません。

(大学設置審議会提出書類「作成要領」を準用。)

I. 教員候補者個人調書

1. 氏名

自筆により氏名を明確に記入すること。

なお、パソコンで氏名を印字した場合は、その上又は下に自筆により氏名を記入するか、若しくはその右に押印すること。

2. 個人番号

文部科学省関係機関に在職する職員に割り振られる8桁の個人番号を記入すること。

3. 年齢及び所属大学・学部学科・講座等

教員資格が発効する日(教員資格審査を行う研究科教授会の開催日又は任用予定である者の場合は就任予定日)現在での満年齢、所属を記入すること。

4. 学歴

大学(若しくは高等専門学校)以上について、学部・学科名、大学院研究科・課程(専攻)名を、それぞれの入学、卒業・修了等の年月とともに記入すること。

大学院に在籍して学位を取得しなかった者は、例えば「博士課程退学」、「博士課程単位取得退学」又は「博士課程満期退学」のように正確に記入すること。

学生としての外国留学、研究生等の期間があれば、ここに記入すること。

5. 学位

博士の学位について、取得年月、学位の種類(専攻分野の名称)、授与された大学名及び学位論文の題名を記入すること。

6. 職歴

すべての職名(発令)又は地位について、年月とともに次のように記入すること。

平成〇年〇月 〇〇大学 助手 農学部

平成〇年〇月 〇〇大学 助教授 農学部

平成〇年〇月 〇〇大学 准教授 農学部

平成〇年〇月 〇〇大学 教授 農学部

(現在に至る)

任用予定である者の場合は、最終行に次のように記入すること。

平成〇年〇月 〇〇大学 教授 農学部(就任予定)

所属大学で役職(附属施設長、評議員等)に就いた経験があれば、それも記載すること。

研究者としての外国留学、聴講生等の期間があれば、ここに記入すること。

以上のような経歴を有する者は、職歴全体を年代順に記入する。

過去に教員審査を受け資格が認められた者は、審査を行った大学名、審査年月、職名及び担当授業科目(専門分野)を記入すること。

教員で過去5年間の研究業績を評価する際、該当期間中に産前・産後休暇、及び育児休業を取得された場合は考慮し、業績評価を行うことが可能。該当する教員で考慮を希望する場合は、休業期間をここに記入すること。

7. 総説

十分な既往研究の検討を踏まえて当該分野の研究の到達点を明らかにした査読付きの業績について、年月を付して年代順に記入すること。

8. 学会賞受賞論文等

学会賞を授与されている場合は、授与の年月を付してこの欄に〇〇賞(〇〇学会賞)

受賞「〇〇に関する研究」と記入すること。
なお、該当しない場合は「なし」と記入すること。

II. 教育研究業績書

著書、原著論文の2項目に分けて年代順(年代の古いものから順に)に記入すること。
また記載内容に対応する論文及び証明書等の別刷又は写しを資料として添付すること。
各項目の区別及び記載の仕方は以下による。

発行又は発表予定のものを含めてよいが、発行又は発表もとの証明書の写しを添付すること。なお、投稿予定のものは含めないこと。

なお、学会発表の講演要旨、科学研究費補助金報告書は原著論文の中に含めることはできない。

1. 著書

ISBNに登録された学術著書・対訳辞書・辞書・翻訳書, ISSNに登録された定期刊行物で臨時増刊として発行された学術著書。書名, 発行所, 執筆ページ等については記入例を参照すること。また, ISBN番号又はISSN番号を記入すること。

2. 原著論文

学術雑誌に掲載されたもの。学術雑誌とは内外の学会が編集する学会誌並びに内外の出版社等が編集する学術誌で、レフェリー制度のあるものとする。なお、国内の学会は原則として日本学術会議協力学術研究団体に登録されていることを条件とする。

誌名, 巻, 号, 頁を記入すること。なお, 誌名は略記しないこと。また, 原著論文のうちレフリー制度のある国際誌または国内学術雑誌で, 申請者が筆頭著者ではないが責任著者である場合はその旨記入する。責任著者が業績に明記されていない場合は、これに代わる根拠を示す説明書を添付すること。

3. 業績概要

うち最近5年の欄には, 当該研究科教授会の日の5年前の年の1月以降の編数を記入すること。

III. 添付する資料等

1. 教育研究業績書に記載した内容に対する論文及び証明書等の右上部に教育研究業績書に記載した番号を明示すること。
2. 掲載証明書等の写しを添付する場合は, その資料の右上部に教育研究業績書に記載した番号を明記し, 教育研究業績書の次に置くこと。
3. コレスポন্ディング・オーサー (CA) となる原著論文については、審査の判断材料として、論文の別刷りとあわせてコレスポন্ディング・オーサー (CA) であることを示す書類の提出を求める場合がある。

平成10年12月	4日	第109回代議員会	一部改正
平成11年	1月22日	第111回代議員会	一部改正
平成14年	2月19日	第146回代議員会	一部改正
平成22年	2月12日	第52回研究科教授会	一部改正
平成25年	2月8日	第58回研究科教授会	一部改正
平成26年	2月14日	第60回研究科教授会	一部改正
平成27年	2月13日	第62回研究科教授会	一部改正
平成28年	2月19日	第64回研究科教授会	一部改正
平成31年	2月8日	第70回研究科教授会	一部改正